

▼人口のうごき

人口 115,598人 (-52人)
 男 55,377人 (-37人)
 女 60,221人 (-15人)
 世帯 46,981世帯 (+1世帯)

平成19年12月末日現在
 住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより
0897-53-1500 (常時)
- 当番病医院
0897-58-2200 (常時)
- 災害情報
0897-55-5551 (発生時)
- 民話テレホン
0897-52-1270 (常時)

▼編集後記

2月1日～7日は「生活習慣病予防週間」です。皆さんは適度な運動、バランスの取れた食事を心がけていますか？
 私の場合、生活習慣を見直さねばと思いつつも、実行に移さずに幾つもの年月がたちました。37ページに掲載した「生活習慣チェック」をしてみると、「はい」と答えた項目が8つもあり、当然、その結果は体型に現れています…。
 誰しもが「健康でありたい」と願うもの。でも、願っているだけでは改善されません。実行あるのみです！
 分かっているけど実行に移せない自分と葛藤する日々。そろそろ腰を上げないと、後に悔やむことになるのですね。(ト)



日本最大級の
 明河のムクノキ ▲

大野霊神社 (社殿の右奥に
 杉の大木が見える) ◀

伝説の絵馬 ▶



丹原町鞍瀬にある大野霊神社には、鳳岳道人、天保6(1835)年8月と記された白馬の奉納額があります。この奉納額のいわれは、昔、平和であった西之子地区の畑が馬に荒らされるようになり、村人が馬の足跡を追って行くと絵馬の下で足跡が消えていました。村人は絵馬の仕業と知りましたが、相手が絵馬ではどうすることもできず途方にくれていたところ、日頃村人から相手にされない村の若者が、村人の集まるところへやってきて「大勢寄って何をしようぞい」と一言言ったそうです。すると村人は、若者に「馬が畑にこないようにせい」と言ったそうです。すると、翌晩から畑は荒らされなくなったので村人は不思議



■住所 丹原町鞍瀬丁440
 ■駐車場 なし(県道から入った道は未舗装で道幅も狭いので、要注意)
 に思い絵馬を見に行つて見ると、絵馬には手綱が描き足していたとの言い伝えがあります。
 また、大野霊神社の杉の大木やさらに奥の保井野の民家を過ぎた辺りにも日本最大級といわれる「明河のムクノキ」があり、伝説や巨木など歴史を感じられる山間部の静かな場所です。

第33回 大野霊神社

ふるさと探訪



西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No. 30 ウミアイサ (冬鳥)

カモの仲間「あいさ」は古くは「あきさ」と呼ばれ、「秋去り」から転じたもの。この鳥が来ると秋が去り冬になるという意味。江戸時代になってウミアイサ、カワアイサなどと区別されるようになった。西条では少数派のカモですが、加茂川河口、大明神川河口などでときどき見られます。



撮影：十亀茂樹